

女性指導者 ^{ふじき} 藤木 ^{ちえこ} 智恵子さん 佐賀県小城市

～JA佐賀県女性組織協議会会長・JA全国女性組織協議会副会長を務める女性指導者～

略 歴

【氏 名】 藤木 智恵子

【住 所】 佐賀県小城市

【活動歴】

平成19年 JAさが佐城女性部部長に就任

平成19年 JA佐賀県女性組織協議会会長に就任

平成21年 JA九州地区女性組織協議会会長に就任

(～22年4月)

平成21年 JA全国女性組織協議会副会長に就任

平成22年 佐賀県協同組合女性連絡会会長に就任



活 動 状 況

1 活動の内容

(1) フレッシュミズの育成について

①地元JAさが佐城女性部の小城地区でフレッシュミズ部会を立ち上げた。

(事務局が一時保育を担当、定期的に活動)

②県域でフレッシュミズ主張コンクールや交流会を開催し、意欲ある後継者作りと組織の強化を図っている。

(2) 女性部役員としての取組み

①女性のJA運営参画促進に力を注いでいる。(JAさが女性理事2名増員H23年度～、女性正組合員大会の開催)

②女性組織の活動のマンネリ化に歯止めをかけるため、H22年度は、県女性組織協議会で組織の運営と活動を見直すこと(活性化対策)をテーマに、各女性組織に働きかけた。

2 活動に至ったきっかけ、経緯

(1) 女性部役員となったきっかけ

部落の班長になったことから、あれよあれよという間に現在に至った。

(2) フレッシュミズの支援のきっかけ

組織の部員減少や若い世代の加入が思うように進まない中、農家、非農家をを超えて次世代の加入に取り組むことで、組織の活性化が図れると考えたため。

3 JA組織における女性農業者（特に若手）の参画状況について

JA佐賀中央会では、JA運営への女性の参画を進めるべく、女性役員（中でもできるだけ若い人）を増やそうと取り組んでいるが、JAの女性部そのものが高齢化等により部員が減少しており、まずはいかに若い人を女性部のメンバーに取り入れるかが課題となっている。

まずはメンバーに取り入れる取組が重要。役員登用の話はそれからの話。

若い女性農業者の中には、活動に参画したいという意欲を持っている人もいる。

実際に、小城市で、食育等のイベントを行う際、呼びかけなどPRを若い人に対しても力を入れて行ったところ、20名程度の参加があった。呼びかけ、PRが大事。

また、佐賀県では、JA運営に女性の参画を促進するため、今年3月に、初の「女性正組合員大会」を開催した。

4 組織又は地域のリーダーとして活躍するために女性農業者に望むこと

「女性には出来ん」と言われないように、女性たちもJA、政治、施策のことまで勉強してほしい。まずは役員に就いているものが勉強しようと呼びかけている。役職についていない一般の女性たち1人1人がレベルアップしないと、女性の登用はなかなか進まない。知識を得ることで女性も自信がつく。

若手女性農業者は、家庭や社会の中でやるべきことをやり、信用を得ることが肝要。農政にも関心を持ち勉強してほしい。